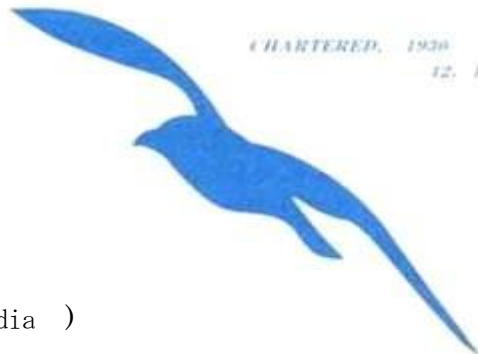




国際会長 (I P) A. Shanavaskhan (India)

Together for a Better World

「より良い世界のために、共に」

会長 古田 和彦

副会長 秋元 美晴

書記 古賀 健一郎

会計 大高 治

直前会長 古賀 健一郎

アジア太平洋地域会長 (A P) ジョウン・ウォン (香港)

“Make a Great Impact”

「変革のための光となろう」

東日本区理事 (R D) 山田 公平 (宇都宮)

“Our Future Direction”

「ワイズの方向性を見極める」

湘南・沖縄部部長 (D G) 久保勝昭 (横浜つるみ)

「共に支え合い～共に喜びを」

横浜クラブ会長 (C P) 古田 和彦

「楽しんで、できる範囲で、YMCA と地域に仕えよう (パートII)」

監事 松島 美一

ブリテン 秋元 美晴

担当主事 菅原 歩

<今月の聖句>

田口 努

一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が導ばれれば、すべての部分が共に喜びます。

(コリント信徒への手紙一 12章26節)

今月のひとこと

2024-25年度を終えるにあたって

古田 和彦



2024-25年度も残り一月となりました。一昨年7月、会長を拝命し、年度のクラブ主題を「楽しんで、できる範囲で、YMCA と地域に仕えよう」としました。そして、その1年後2期目の会長をさせていただくにあたり、クラブ主題を「楽しんで、できる範囲で、YMCA と地域に仕えよう (パートII)」としました。改めて申し上げますが、どのクラブも会員の高齢化に伴い担い手が不足しています。その打開のためには新しい会員の獲得が必須であります。そのためには、現会員がクラブライフを通して、楽しさ、やりがい、充実感

をもてる姿を示すことが大切ではないかと考えます。私たちが支援する横浜YMCAの活動は多岐にわたっておりますので、ワイズメンズクラブの活動も幅広く多くの分野で行われることになります。その多くに関わることができる人は、それはそれで素晴らしいことですが、場合によっては、自分の「できる範囲で」いいんだと思います。ワイズメンズクラブは、任意のサービスクラブですから、それぞれの事情や興味関心により、できる範囲の奉仕でよいのではないのでしょうか。翻って考えますと、ワイズメンズクラブの会員となるということだけで、会費や献金を通して、世界のワイズメンと連帯して世界平和と地球的課題解決 (RBMによるマラリア撲滅活動やTOFによる発展途上国支援など) に参加していますし、横浜YMCAの維持会員になることによって、YMCA・地域社会への支援をしていることも覚えておきたいと思います。

さて、24-25年度ですが、クラブのメインイベントである外国人による日本語スピーチコンテストも11回目を迎え、予定どおり開催・支援できたこと、納涼例会には部内の全クラブの皆さんのご参加を得、ゲストの方もむかえて楽しい会とすることができたこと、また、W4W (Week for Waste=ゴミの週・ゴミ削減) 活動として、「美しい港町横浜を作る会」の清掃活動への参加を定着化させることができ、横浜つづきクラブが主催する富士山例会に合同し、内容のある楽しい会を持つことができました。一方、昨年4月に入会されたクロタカ夫妻が残念ながら9月で退会となってしまいました。言葉の問題もありますが、十分

ケアできなかったためと深く反省し、課題であると認識しています。

7月から始まる新年度は、新進気鋭の齋藤宙也ワイズが会長になります。新会長と共に楽しく、意味のあるワイズライフを過ごしましょう。

＜2025年5月例会実績＞

在籍者	出席者	出席率	B F
11名	メノ 3名 メネット 0名 コメント 0名 ビジター 19名 ゲスト 5名 合計 27名	73% (メーキャップ 5名を含む) 前月修正出席 率 %	今月分 切手 0g 現金 0円年 累計 切手 0g 現金 0円

＜6月の行事予定＞

YMCA サポート 評価 次年度計画

日	曜日	行事内容	場所
3	火	第106回 Y-Ys 協議会	中央Y
7-8	土・日	東日本区大会	宇都宮
12	木	第一例会	中央Y
21	土	第二例会	Zoom
21	土	部第3回評議会	とつかY

第一例会報告

富士山 YMCA 合同例会

古賀 健一郎

日時：2025年5月16日（金）10：00～17日（土）16：00

場所：YMCA 富士山グローバル・エコ・ヴィレッジ&YMCA 東山荘

参加者：《横浜クラブ》古賀・菅原・古田（3名）《鎌倉クラブ》4名、《厚木クラブ》2名、《つづきクラブ》7名、《つるみクラブ》2名、《大和クラブ》1名、《富士五湖》3名、《富士山 YMCA 関係者》2名、《ヘルマンハーブ演奏者》3名（ゲスト）

今回、ワイズメンズクラブ7クラブ（横浜・鎌倉・厚木・つづき・つるみ・大和・富士五湖）と富士山 YMCA 関係者、ヘルマンハーブの音楽ゲストが一堂に会し、豊かな交流の場となった富士山 YMCA 合同例会に、横浜クラブは5月例会を兼ねる形で参加させていただきました。

富士山 YMCA 合同例会では、大変有意義で温かなひとときを皆様とご一緒できましたこと、心より感謝申し上げます。とりわけ、鈴木茂会長をはじめ、横浜つづきクラブの皆様、そして富士山 YMCA の三上所長をはじめ関係者の皆様には、心のこもったご準備と温かいおもてなしを賜り、深く御礼申し上げます。自然に恵まれた環境の中で、クラブの垣根を越えて交わりのひ

とときを過ごせたことは、私たちにとって何よりの恵みであり、あらためて感謝の思いがあふれてまいります。

このたびの感謝の気持ちを込めて、添付の集合写真とともに、私自身の想いを少しだけ述べさせていただきます。その写真には、「富士山を背に、希望と平和の鐘のもと、ワイズメンの笑顔と絆」というキャプションを添えさせていただきました。

当日はあいにくの天候でしたが、束の間の晴れ間に姿を現した富士山が、私たちに静かに語りかけてくれているようでした。この一枚が、例会全体の感動を象徴しているように思えてなりません。今回の会場「富士山 YMCA グローバル・エコ・ヴィレッジ」について、所長の三上淳さんより、次のような説明がありました。

《横浜 YMCA の使命：“for ALL”》

「人を育み、世界を視野に、生命輝く・人・地球・自然」
グローバル・エコ・ヴィレッジの愛称は…

- ・グローバル：世界を常に見つめ、
- ・エコ：自然とともに歩み、
- ・ヴィレッジ：多くの人々の力でつくりあげる。

このメッセージの通り、富士山を背景に響いた“希望と平和の鐘”の音は、まさにこのヴィレッジの精神そのものでした。

夕暮れのバーベキューの後に開かれた音楽会では、美しい調べの数々に心打たれました。特にヘルマンハーブの指導者、小野瀬由美子さんの「音楽は共通の言語であり、国境はない。世界の平和を祈ります」というお言葉が印象に残りました。

音楽の力で心が結ばれる、まさにその瞬間を私たちは共有できたのです。小松ワイズのトランペット『You Raise Me Up』では、支え合いによって生まれる力強さを感じ、ヘルマンハーブ（小野瀬由美子さん、板崎淑子ワイズ、齋藤奈保美さん、高橋真弓さん）の心に染み入るような美しい音色に、自然と一体になる感動を覚えました。アンコール曲『見上げてごらん夜の星を』では、小さな光に込められた希望に心が温まり、『Amazing Grace』では、困難の中にあっても注がれる神の想像を超えた恵みに、胸が熱くなりました。

翌朝の【早天礼拝】では、「癒しの恵みから、希望の光へ」と題し、古賀が奨励を担当させていただきました。今城宏子ワイズには、前奏・讃美歌・後奏と優しい響きの奏楽をしていただき、心より感謝申し上げます。

《最後に》

私は、4年前、大病を患い、「このまま静かに人生の旅路を終えてもよいのかもしれない」と思うほど、深い闇の中におりました。しかし、そんな私を、神様は見捨てることなく、恵みの御手で支え、困難のただ中から救い出してくださいました。そして今、再びこのように豊かな交わりの場に戻ることができたことは、私にとって何ものにも代えがたい神様からの恵みと感じています。

音楽会で響いたひとつひとつの音色、早天礼拝で今城宏子ワイズが奏でくださったやさしい旋律は、私の心に静かに染み入り、大きな慰めと癒しをもたらしてくれました。そして神様が近くにいてくださることを、やさしく思い起こさせてくれるような時間でした。復活の希望をあらためて胸に刻む、静かな恵みの時となりました。

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

詩編 103 編 4 節には「命を墓から贖い出してください」とあります。病や苦しみの中にある私たちに、神様は慰めと癒しを与え、やがては新たな希望へと導いてくださる——その恵みの確かさを、今回の富士山 YMCA での交わりを通して、私は深く実感いたしました。

そして、集合写真に写る富士山の姿——雲間から静かに現れたその峰は、あたかも神ご自身がこの場所に宿り、私たち一人ひとりをやさしく包み込むように見守っておられるように感じられました。「富士山を背に、希望と平和の鐘のもと、ワイズメンの笑顔と絆」…この写真が語るものは、神の恵みと癒し、そして未来へとつながる確かな希望です。

今、平和が脅かされているこの世界にあつてこそ、私たちはなお一層、平和を希求し、希望の灯を絶やすことなく歩み続けたいと願います。



富士山を背に、希望と平和の鐘のもと、ワイズメンの笑顔と絆

2025 年度横浜 YMCA 会員総会報告

古田 和彦

5月31日(土) 午後2時から4時45分、湘南戸塚YMCAとオンライン併用で横浜YMCA会員総会が行われました。コロナの後、しばらくはかの会場を使っていましたが、今回はYMCA施設内での開催となりました。

定刻、総合司会の総会準備委員後藤美紀さんが開始宣言。続いて、同じく総会準備委員の荒井仁さん司式により開会礼拝。賛美ののち、聖書は2025年度基本聖句「どうか、あなたがたの心を励まし、また強め、いつも善い働きをし、善い言葉を語る者としてくださるように。」(テサロニケの信徒への手紙Ⅱ2章17節)が読まれ、祈禱がささげられました。

次いで、総会準備委員長岡戸良子さんから挨拶のあと、議事の審議となり、議長は常議員会議長の黄崇子さん。定足数の確認があり、出席者は、会場、オンライン、委任状合わせて312名で定足数216を上回り総会は成立しました。議長の指名により、佐竹博総主事が、第1号議案「2024年度事業及び会計報告の承認」、第2号議案「2025年度活動方針案及び予算案の承認」、第3号議案「常議員の選出の件」を提案・説明しました。第1号議案、第2号議案では、VISION2034に基づき、今年度は第2中期計画の2年目として活動を展開していくこと、財政的には、コロナで大きく落ち込んだ収支が、毎年、改善に向かっていくこと等報じられました。常議員の選出では、新任3名、改選2名、公益財団法人役員のため留任2名が提案されました。上記、3議案の議決は、会場参加者は、この後の休憩時

間に投票し、オンライン参加者はオンラインで賛否を投じました結果、いずれの議案も原案どおり承認されました。

休憩ののち、能登半島地震・豪雨災害被災者支援活動に派遣された職員から現地の実情やボランティアとして、ユースリーダーや聖光学院の生徒と共に泥かき作業などをしてきたことが報告されました。なお、会場の外では、能登の製品の販売と募金箱が置かれ、参加者の協力がありました。続いて、第4号議案「会員表彰」が上程され、奉仕の書には長く大和YMCA運営委員などを務められた石橋正彦さんが記され、31名のリーダーが奉仕賞を受けました。工藤理事長の挨拶、閉会式、佐竹総主事の感謝の言葉ののち、全員でYMCAの歌を歌い記念撮影で終了しました。

横浜クラブからの参加者は、会場：大高、古賀、佐竹、菅原、古田でした。オンライン参加者がおりましたら申告してください。

近況報告

皆様との再会を楽しみにしつつ

押川 幸男



東京から群馬県に転任して、8年目を迎えました。3年間の共愛学園こども園園長兼務を終え、昨年4月に前橋から沼田に戻り、「腰を落ち着けて、地域に根ざした活動をしたい」と思い、地元の沼田ロータリークラブに入りました。以前、宮崎にいたときにも宮崎西ロータリークラブ

入っていましたが、20年ぶりの再入会になりました。私と同じ年代の方々も多く、卒園生や保護者もいて、毎週の例会や活動に積極的に参加して楽しく過ごしています。横浜ワイズメンズクラブの例会にはなかなか出席できませんが、8月の納涼会には出席したいと願っています。今年は8月21日(木)の予定との事。園の行事と重なるようですが、なんとか調整したいと思っています。皆様との再会を楽しみにしています。

第二例会報告

秋元 美晴

日時：5月28日(水) 11:30~12:15

出席者：秋元、大高、古賀、齋藤、菅原、古田

場所：Zoom

古田会長のお祈りに続いて開始。

1. 行事予定の確認

5月28日~8月28日まで予定を確認した。

2. 協議・報告事項

(1) 総会の総合司会

7/10の第一例会・総会の司会：秋元

(2) 6月第一例会までの宿題

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

資料4の総合評価、資料6のクラブ役員と事業委員等、資料7の運営方針、資料9の予算案を各自確認しておく。

(3) 剰余金の使途

2万円は、15,000円はミャンマー災害支援へ、5,000円はウクライナへ寄付することにした。

(4) 8月の納涼例会

部の催し物として開催することが、評議会で提案される予定である。

(5) スピーチコンテスト(7/18)

- ・1名の審査員を湘南沖縄部の兵藤部長にお願いすることとなった。
- ・当日の挨拶は齋藤会長が欠席のため、齋藤会長のスピーチの原稿を代読することになった。
- ・支援金増額の希望が専門学校の山下さんよりあった。このことについては、古田会長が山下さんに事情を聞いたうえで、6月に改めて検討する。なお、予算は横浜クラブ3万円、厚木クラブ8,000円、村田製作所3万円で、カレッジグループの負担金は17,680円である。厚木クラブは共催なので金額を増やしてもらうことはできないかという意見もあった。

(6) プリテン6月号編集計画

確認した。

(7) 6月第二例会は、6月21日(土) 11:30～に開催する。



担当主事 菅原 歩

5月は後半になり、小学校の運動会が近づいてくると子どもたちの歌う応援歌が聞こえてきます。暑さに負けず、元気な声に聴いている私も楽しくなってきます。暑さも厳しくなりますが、体調にお気を付けください。

5月1日 常盤町清掃活動

5月18日 富士山YMCA大感謝祭

5月24日 サマープログラム受付開始

5月30日 常盤町清掃活動

5月31日 会員総会

6月15日 ウォーターセーフティーデイ

6月例会プログラム

日時: 6月12日(木) 18:30～20:00

場所: 中央YMCA・オンライン

司会 大高治ワイズ

1. 開会点鐘および挨拶・・・古田会長
2. ワイズソング・ワイズの信条・・・全員
3. 今月の聖句・・・田口ワイズ
4. ゲスト・ビジター紹介・・・古田会長
5. ビジネス
 - ・総会資料の確認
 - ・その他

6. Happy Birthday 松島美一

7. 閉会点鐘・・・古田会長

例会報告: 大高ワイズ

7月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
12	木	18:30	第一例会・総会・部長公式訪問	中央Y
18	金	13:00	第12回日本語スピーチコンテスト	厚木市文化会館
23	木	17:00	第二例会	Zoom

当プリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA 菅原歩にご連絡下さい。
メール sugahara_ayumu@yokohamaymca.org
電話 045-307-7556